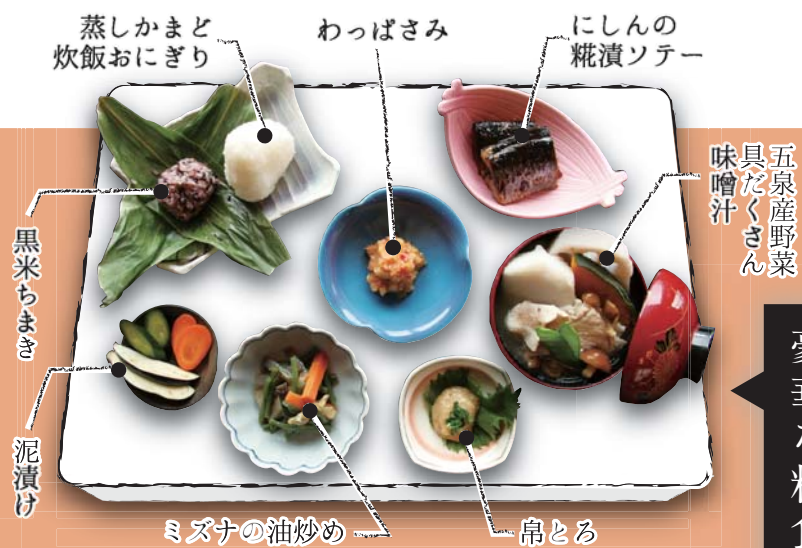


# 阿賀野川流域でしか 味わえない体験と感動 があります。

空と大地と豊かな大河、  
忘れられない人との出会い、  
忘れてはいけない地域の光と影。  
それらすべてがありのままに  
阿賀野川流域で皆さんをお待ちしています。

そして、それらすべてを  
いくつもの環境学習プログラムを通して  
現地を巡って直接体験していくことで、  
**これからの社会を生きていく力や  
これからの地域をつくりあげる知恵を**  
深い感動とともに手にすることでしょう。

一般社団法人  
あがのがわ環境学舎



※写真は一例です。"豪華な粗食"は一般社団法人あがのがわ環境学舎の登録商標です。

豪華な粗食

阿賀野川流域  
だから体験  
できること

公害に向き合う

## 1 公害関連の環境学習プログラム

▶ P.8 ~ P.11 でさらに詳しく



旧昭和電工株鹿瀬工場正門前からガイド



元船頭の被害者の方が現地で語る(阿賀町五十島)



旧昭和電工株鹿瀬工場高台からガイド

なぜ新潟水俣病が発生するに至ったのか。被害者の方はこれまで何に苦しんできたのか。その頃の流域の暮らしや産業はどう関係していたのか。様々な視点から歴史の光と影の1コマに向き合い考えを深めていくプログラムの数々です。紙芝居や映像作品によるユニークな座学を体験後、専門ガイドなどが実際に現地を巡って案内します。

公害を乗り越える

## 2 流域の産業・自然体験プログラム

▶ P.12 ~ P.15 でさらに詳しく



"やすだ瓦ロード"のバス停留所で一休み



広大なブナ原生林(阿賀町日尊の倉山)



神田酪農の牛舎(阿賀野市六野瀬)

公害を経験した流域だからこそ、全国に向けて胸を張って発信できる独自の環境取組や地域づくりが始まっています。そうした中から、上流域に広がるブナ原生林など豊かで貴重な自然資源や、中流域独特の風土が生み出した安田瓦や酪農などの地場産業の取組などを、地元のスポットガイドの案内で体験できるプログラムの数々です。

過去を未来へ生かす

## 3 かつて輝いていた流域の貴重な郷土料理

阿賀野川が運んだ肥沃な土壌が生むブランド野菜の数々、かつて下流域を中心に豊富に獲れた鮭やヤツメ、中流域で再発見した粘土に漬ける漬物「泥漬」や蒸しかまどの絶品ご飯、麹・酒などの発酵食や山菜料理が特色の上流域の食文化…こうした失われつつある様々な恵みを今に蘇らせた流域オリジナルの"豪華な粗食"体験をぜひ。







公害の光と影を考える

▶ P.08 ~ P.11



中流域の  
地場産業な  
どを体験する

▶ P.12 ~ P.13



上流域の  
自然資源な  
どを体験する

▶ P.14 ~ P.15